

交付運用報告書

欧州厳選株式ファンド

《愛称》欧州夢紀行

追加型投信／海外／株式

第4期（決算日 2019年4月9日）

作成対象期間（2018年4月10日～2019年4月9日）

●運用方針

明治安田欧州株式マザーファンドを通じて、欧州の株式を主要投資対象とし、中・長期的な運用を行います。

受益者のみなさまへ

平素は「欧州厳選株式ファンド」にご投資いただき、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、左記の運用方針に基づき信託財産の運用を行い、第4期の決算を行いました。ここに期中の運用状況につきましてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

第4期末(2019年4月9日)	
基準価額	10,014円
純資産総額	756百万円
第4期 (2018年4月10日～2019年4月9日)	
騰落率	△0.8%
分配金合計	0円

※騰落率は分配金実績があった場合、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

明治安田アセットマネジメント株式会社

東京都港区虎ノ門三丁目4番7号

<http://www.myam.co.jp/>

<運用報告書のお問い合わせ先>

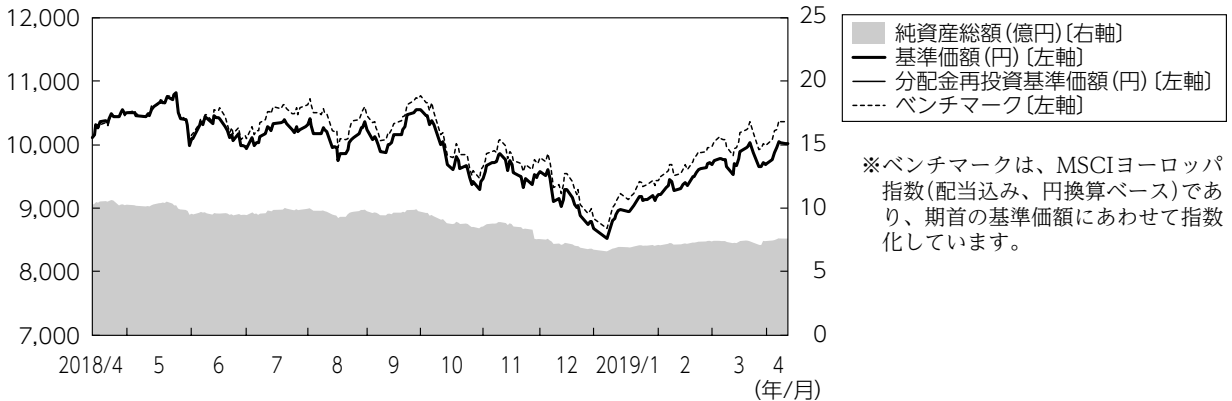
サポートデスク 0120-565787

(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法により交付できる旨定めています。運用報告書(全体版)は、上記の委託会社のホームページのホーム画面から、投資信託商品一覧を選択し、当ファンドの運用報告書(全体版)を選択することにより、閲覧およびダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)を書面でご要望の場合は、販売会社にご請求いただければ、当該販売会社を通じて交付いたします。

運用経過の説明

■ 基準価額等の推移



第4期首(2018年4月9日)：10,098円

第4期末(2019年4月9日)：10,014円(既払分配金0円)

騰落率：△0.8%(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は分配金実績があった場合、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

ファンドの運用方針に従い、明治安田欧州株式マザーファンドを通じて、欧州の株式に投資を行いました。投資対象資産の価格変動等による基準価額の変動要因は以下の通りです。

(上昇要因)

- ・期首から9月下旬にかけて、英国やイタリアの政治不安があったものの、概ね良好な企業業績を背景に欧州株式相場が強含みとなったこと
- ・2019年1月上旬から期末にかけて、12月の世界的な株式相場急落を受けた投資家の自律反発狙いの買いや、欧米の中央銀行が景気に配慮した金融政策を示唆したことなどから欧州株式相場が上昇したこと

(下落要因)

- ・10月から12月下旬にかけて、米国長期金利の上昇や英国のEU(欧州連合)離脱交渉に対する先行き不透明感、およびイタリア財政問題等の欧州政治懸念や世界的な景気減速感から欧州株式相場が下落し、ユーロが円に対して下落したこと

■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2018年4月10日～2019年4月9日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	180 円	1.836 %	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 期末の信託報酬率 ※ 期中の平均基準価額は9,823円です。
(投信会社)	(90)	(0.918)	ファンドの運用、基準価額の算出、法定書類の作成等の対価
(販売会社)	(80)	(0.810)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(11)	(0.108)	ファンド財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	3	0.032	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(3)	(0.032)	
(c) 有価証券取引税	9	0.087	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(9)	(0.087)	
(d) その他費用	26	0.260	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(保管費用)	(23)	(0.232)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.011)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(2)	(0.017)	信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
合 計	218	2.215	

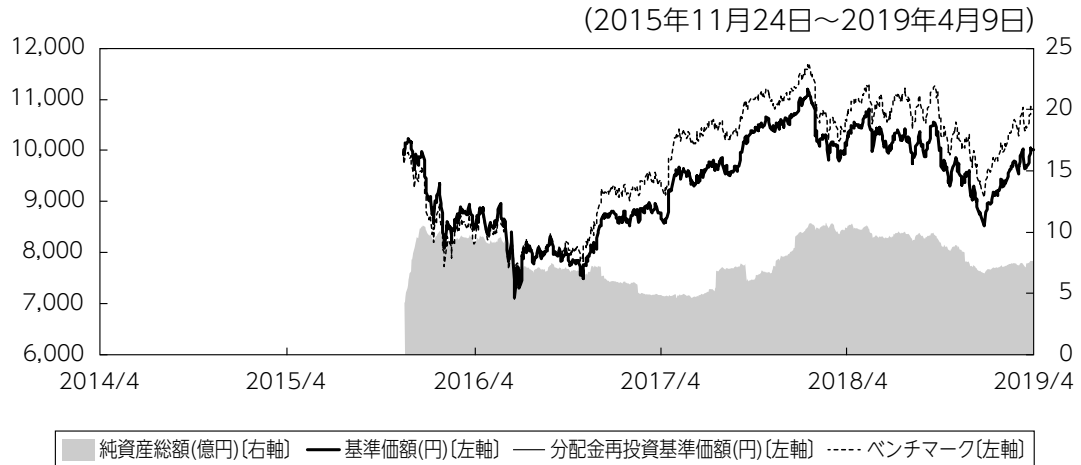
(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

■最近5年間の基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は分配金実績があった場合、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

※ベンチマークは、設定時の基準価額に合わせて指数化しています。

	2015年11月24日 設定日	2016年4月11日 決算日	2017年4月10日 決算日	2018年4月9日 決算日	2019年4月9日 決算日
基準価額 (円)	10,000	8,490	8,767	10,098	10,014
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△15.1	3.3	15.2	△0.8
MSCIヨーロッパ指数(配当込み、円換算ベース)騰落率 (%)	—	△17.9	14.7	12.2	2.7
純資産総額 (百万円)	419	915	478	1,025	756

※MSCIヨーロッパ指数(配当込み、円換算ベース)は、当ファンドのベンチマークです。

※設定日の基準価額は設定時の価額、純資産総額は設定元本です。

※騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

※純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

ベンチマークの詳細は後掲の<当ファンドのベンチマークについて>をご参照ください。

■投資環境

外国株式

当期の主要欧州株式相場は、ドイツDAXは下落したものの、英国FTSE100、フランスCAC40などは上昇し、全体としては上昇しました。期首から9月下旬にかけては、総じて堅調な企業業績が好感され堅調に推移しました。その後、12月下旬にかけて米国長期金利の上昇および高止まりに対する警戒感に加え、英国のEU離脱交渉に対する先行き不透明感、イタリア財政問題等の政治懸念等から徐々に下落幅が広がりました。年末には米中貿易摩擦における景気減速感が改めて意識され世界的な株価下落となりました。2019年に入り、投資家の自律反発狙いの買いや米中通商協議の進展に対する楽観的な見方、欧米の中央銀行の景気に配慮した金融政策の示唆などを受けて、株価は上昇しました。

外国為替

当期のユーロは、円に対して下落しました。期首から9月下旬にかけては、イタリア政治への先行き懸念があったものの、ECB（欧州中央銀行）による早期政策金利引き上げには慎重との見方に支えられて底堅い推移となりました。その後は、製造業PMI（購買担当者景気指数）が低下基調にあることや、欧州委員会が2019年の成長率見通しを下方修正するなど景況感の悪化が意識されたことにより、軟調な動きとなりました。

当期のポンドは、円に対して下落しました。ユーロ圏の経済減速が徐々に意識される中、8月に中央銀行が、政策金利引き上げを発表し、反発する場面がありました。その後は12月下旬にかけて、フランスの抗議デモなどの欧州政治懸念に加え、英国のEU離脱交渉の先行き不透明感が意識され下落幅を強めました。期末にかけては、反発する場面があったものの戻りは限定的となりました。

■当該投資信託のポートフォリオ

欧州厳選株式ファンド

期首の運用方針に基づき、「明治安田欧州株式マザーファンド」を通じて欧州の株式に投資を行い、期を通じてマザーファンドの組入比率を高位に保ちました。

なお、「明治安田欧州株式マザーファンド」の運用に関して、ニュートン・インベストメント・マネジメント・リミテッドに欧州主要国の株式等の運用指図に関する権限の一部を委託しております。

明治安田欧州株式マザーファンド

期首の運用方針に基づき、期を通じて欧州主要国の株式に投資を行い、高い組入比率を維持しました。当期の投資行動としては、グローバル経済、市場動向等の分析や投資テーマを勘案のうえ、欧州株式市場の中から持続的な競争力で優位を有する銘柄を厳選し、銘柄の入れ替えや組入比率の調整を行いました。

当期中に新規に組み入れた銘柄としては、NESTLE SA-REG (食品・飲料・タバコ、スイス)、SANOFI (医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス、フランス)、UNILEVER NV-CVA (家庭用品・パーソナル用品、オランダ) などがあります。

これに対して全売却した銘柄は、CRH PLC (素材、イギリス)、YOOX NET-A-PORTER GROUP (小売、イタリア)、また一部売却した銘柄は、ROYAL BANK OF SCOTLAND GROUP (銀行、イギリス)、ROYAL DUTCH SHELL PLC-B SHS (エネルギー、イギリス) などです。

この結果、期首・期末の国別比率、組入上位業種および組入上位銘柄は次の図表の通りとなり、保有銘柄の価格上昇(外貨建資産は「円ベース」)から基準価額は上昇しました。

【組入上位国】

期首 (2018年4月9日)

	国	組入比率
1	イギリス	36.7%
2	ドイツ	17.2%
3	フランス	17.0%
4	スイス	11.6%
5	アイルランド	3.7%

※組入比率は純資産総額に対する比率

期末 (2019年4月9日)

	国	組入比率
1	イギリス	34.8%
2	フランス	17.1%
3	スイス	15.4%
4	ドイツ	15.1%
5	オランダ	6.7%

※組入比率は純資産総額に対する比率

【組入上位業種】

期首 (2018年4月9日)

	業種	組入比率
1	銀行	18.6%
2	保険	10.3%
3	エネルギー	9.4%
4	資本財	7.0%
5	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	6.8%

※組入比率は外国株式評価金額合計に対する比率

期末 (2019年4月9日)

	業種	組入比率
1	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	11.8%
2	食品・飲料・タバコ	10.6%
3	銀行	9.7%
4	エネルギー	8.4%
5	資本財	8.4%

※組入比率は外国株式評価金額合計に対する比率

【組入上位銘柄】

期首 (2018年4月9日)

	銘柄名	国	業種	組入比率
1	ロイヤルバンク・オブ・スコットランド・グループ	イギリス	銀行	5.2%
2	ロイヤル・ダッチ・シェル	イギリス	エネルギー	4.5%
3	パークレイズ	イギリス	銀行	4.1%
4	BNPパリバ	フランス	銀行	3.9%
5	クレディ・スイス・グループ	スイス	各種金融	3.7%

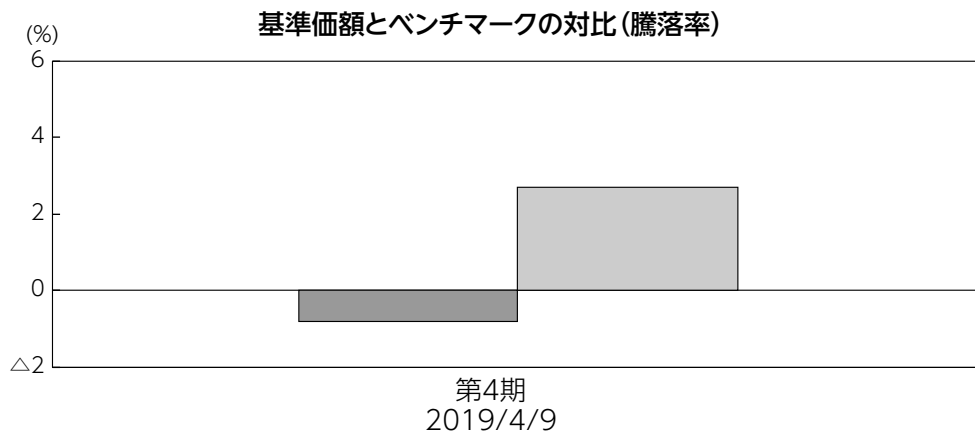
※組入比率は純資産総額に対する比率

期末 (2019年4月9日)

	銘柄名	国	業種	組入比率
1	ロイヤル・ダッチ・シェル	イギリス	エネルギー	4.5%
2	ネスレ	スイス	食品・飲料・タバコ	3.9%
3	ユニリーバ	オランダ	家庭用品・パーソナル用品	3.8%
4	プルデンシャル	イギリス	保険	3.4%
5	ノバルティス	スイス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	3.2%

※組入比率は純資産総額に対する比率

■当該投資信託のベンチマークとの差異



※ファンドの騰落率は分配金込み

■ 基準価額 ■ MSCI ヨーロッパ指数 (配当込み、円換算ベース)

基準価額 (分配金込み) の騰落率は $\Delta 0.8\%$ となりました。一方、ベンチマークの騰落率は $+2.7\%$ となり、騰落率の差異は $\Delta 3.5\%$ となりました。この差異に関する主な要因は以下の通りです。

(プラス要因)

- ・ 国別では、イタリア、スペインの株式を概ね組み入れていなかったこと
- ・ 業種では、一般消費財・サービスを概ねアンダーウエイトしたこと
- ・ 銘柄選択では、ヘルスケア、素材、不動産業種などがプラスに寄与したこと

(マイナス要因)

- ・ 業種では、金融を概ねオーバーウエイト、ヘルスケアおよび生活必需品を概ねアンダーウエイトしたこと
- ・ 銘柄選択では、資本財、情報技術業種などがマイナスに影響したこと
- ・ 信託報酬等のファンド運用上の諸費用を計上したこと

■分配金

- ・収益分配金については、分配対象額の水準、基準価額水準等を勘案した結果、見送りとさせていただきます。
- ・収益分配にあてず信託財産内に留保した利益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円・%、1万口当たり、税引前)

項目	第4期
	(2018年4月10日～2019年4月9日)
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	283

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

欧州厳選株式ファンド

引き続き、「明治安田欧州株式マザーファンド」を通じて欧州の株式に投資を行い、マザーファンドの組入比率を高位に保つ方針です。

なお、「明治安田欧州株式マザーファンド」の運用に関して、ニュートン・インベストメント・マネジメント・リミテッドに欧州主要国の株式等の運用指図に関する権限の一部を委託します。

明治安田欧州株式マザーファンド

引き続き、欧州主要国の株式を主要投資対象とし、高い株式組入比率を維持します。

運用を委託するニュートン・インベストメント・マネジメント・リミテッドでは、グローバルな産業、市場、経済動向の分析、把握をベースに、産業および株式分析チームの調査や市場動向、テーマ性を勘案の上、欧州株式市場の中から持続的な競争力優位を有する銘柄を厳選し、ポートフォリオ構築を行います。

お知らせ

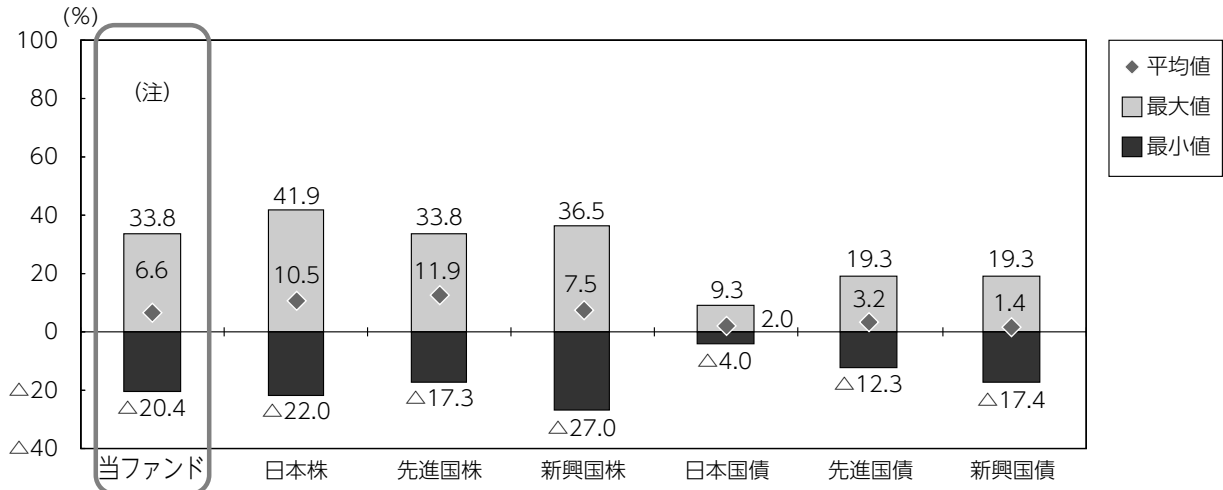
該当事項はございません。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2015年11月24日から2025年11月21日	
運用方針	信託財産の中・長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	欧州厳選株式ファンド	欧州主要国の株式を主要投資対象とする明治安田欧州株式マザーファンドを主要投資対象とします。 なお、当該株式に直接投資する場合があります。
	明治安田欧州株式マザーファンド	欧州主要国の株式を主要投資対象とします。
運用方法	MSCIヨーロッパ指数をベンチマークとし、これを中・長期的に上回る運用成果を目指します。 マザーファンドにおける欧州主要国の株式等の運用指図に関する権限は、ニュートン・インベストメント・マネジメント・リミテッドに委託します。	
分配方針	年1回(毎年4月9日。休業日の場合は翌営業日。)決算を行い、原則として以下の方針に基づいて分配を行います。 ①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 ②収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。 ③収益分配にあてず信託財産内に留保した利益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較

対象期間：2014年4月～2019年3月



※上記グラフは、ファンドと他の代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、対象期間5年間の各月末における直近1年間の騰落率データ(60個)を用いて、平均、最大、最小を表示したものです。

※ファンドの年間騰落率のデータは、各月末の分配金再投資基準価額(分配金実績があった場合、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算)をもとに計算しており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。また、決算日を基準日とした年間騰落率とは異なります。

※全ての資産クラスが、当ファンドの投資対象とは限りません。

(注)当ファンドの年間騰落率のデータ数は、設定日から5年分(60個)に達していないことから、代表的資産クラスのデータ数と異なります。

※各資産クラスの指数について

資産クラス	指数名称	権利者
日本株	東証株価指数(TOPIX)(配当込み)	株式会社東京証券取引所
先進国株	MSCI-KOKUSAI(配当込み・円換算ベース)	MSCI Inc.
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み・円換算ベース)	MSCI Inc.
日本国債	NOMURA-BPI(国債)	野村證券株式会社
先進国債	FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)	FTSE Fixed Income LLC
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)	J.P.Morgan Securities LLC

(注)海外指数は、対円で為替ヘッジなしによる投資を想定して、各月末の指数値を円換算または円ベースとしています。

※各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、上記に記載の各権利者に帰属します。

また、各権利者は当ファンドの運用成果等に関し一切責任を負いません。

各指数の詳細は後掲の<代表的な資産クラスの指数について>をご参照ください。

当該投資信託のデータ

■ 当該投資信託の組入資産の内容

○ 組入(上位)ファンド(銘柄)

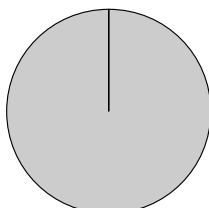
組入ファンド数：1

	第4期末
	2019年4月9日
明治安田欧州株式マザーファンド	99.4%
その他	0.6%

※組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

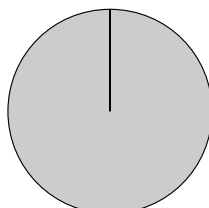
※組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

○ 資産別配分



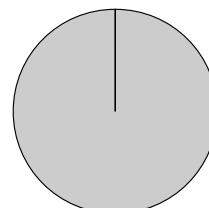
親投資信託受益証券
100.0%

○ 国別配分



日本
100.0%

○ 通貨別配分



日本円
100.0%

※当期末におけるポートフォリオ評価額に対する比率

■ 純資産等

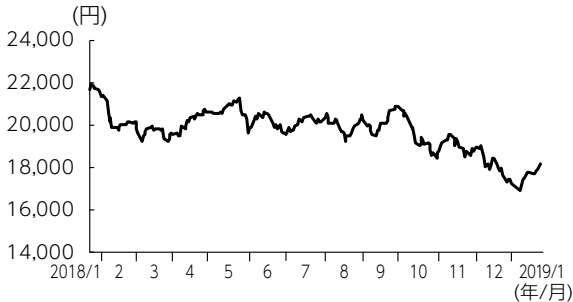
項 目	第4期末
	2019年4月9日
純資産総額	756,690,642円
受益権総口数	755,650,190口
1万口当たり基準価額	10,014円

※当期間中における追加設定元本額は157,286,306円、同解約元本額は416,979,892円です。

■組入上位ファンド(銘柄)の概要

明治安田欧州株式マザーファンド

○当期の基準価額の推移



決算期：第19期

計算期間：2018年1月23日～2019年1月21日

○1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
平均基準価額	19,792円	
(a) 売買委託手数料 (株 式)	7円 (7)	0.035% (0.035)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	24 (24)	0.123 (0.123)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	54 (52) (2)	0.273 (0.265) (0.008)
合 計	85	0.431

※上記項目の概要につきましては、2ページをご参照ください。
 ※各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 ※各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点第3位未満は四捨五入してあります。

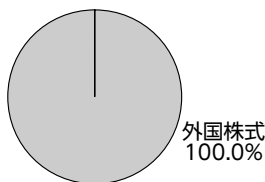
○外国株式上位銘柄

組入銘柄数：43

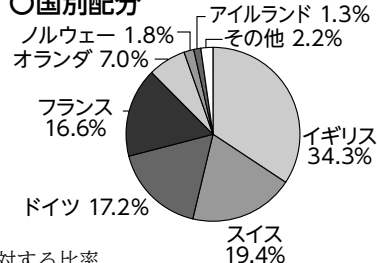
	銘柄名	国	業種	組入比率(%)
1	ROYAL DUTCH SHELL PLC-B SHS	イギリス	エネルギー	4.7
2	NESTLE SA-REG	スイス	食品・飲料・タバコ	4.4
3	NOVARTIS AG-REG	スイス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	4.1
4	UNILEVER NV-CVA	オランダ	家庭用品・パーソナル用品	3.9
5	ZURICH INSURANCE GROUP AG	スイス	保険	3.8
6	ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN	スイス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	3.5
7	BARCLAYS PLC	イギリス	銀行	3.4
8	PRUDENTIAL PLC	イギリス	保険	3.4
9	VOLKSWAGEN AG-PFD	ドイツ	自動車・自動車部品	3.3
10	GLAXOSMITHKLINE PLC	イギリス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	3.1

※組入比率は当期末における純資産総額に対する評価額の割合です。
 ※組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

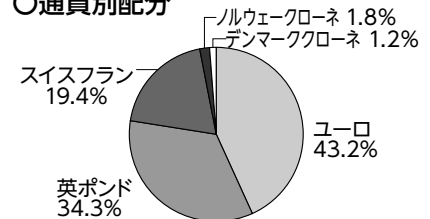
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



※当期末におけるポートフォリオ評価額に対する比率

(注)当マザーファンドの計算期間における運用経過等の説明は運用報告書(全体版)をご参照下さい。

<当ファンドのベンチマークについて>

MSCIヨーロッパ指数（配当込み、円換算ベース）

MSCIヨーロッパ指数は、欧州諸国企業の株価から構成される指数（インデックス）です。MSCIインデックスは、MSCI Inc.の知的財産であり、MSCIはMSCI Inc.のサービスマークです。MSCIインデックスに関する著作権、その他知的財産権はMSCI Inc.に帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いてインデックスの全部または一部を複製、頒布、使用などすることは禁じられています。またこれらの情報は、信頼のおける情報源から得たものですが、その確実性および完結性をMSCI Inc.は何ら保証するものではありません。

<代表的な資産クラスの指数について>

東証株価指数（TOPIX）は、東京証券取引所 市場第一部（以下、東証市場第一部とすることがあります。）の時価総額の動きをあらわす株価指数であり、株式会社東京証券取引所（以下「東京証券取引所」といいます。）が算出、公表を行っています。東証市場第一部に上場しているすべての銘柄を計算の対象としていますので、日本の株式市場のほぼ全体の資産価値の動きを表しています。

東証株価指数（TOPIX）は東京証券取引所の知的財産であり、株価指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関する全ての権利およびTOPIXの商標に関する全ての権利は東京証券取引所が有します。東京証券取引所はTOPIXの指数値の算出若しくは公表の方法の変更、TOPIXの指数値の算出若しくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更若しくは使用の停止を行うことができます。東京証券取引所はTOPIXの商標の使用若しくはTOPIXの指数の利用に関して得られる結果について何ら保証、言及をするものではありません。

MSCI-KOKUSAIは、MSCI Inc.が算出する日本を除く世界主要国の株式市場を捉える指数として広く認知されているものであり、MSCI-KOKUSAI指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。MSCI Inc.は当ファンドの運用成果等に関し一切責任はありません。

MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が算出する新興国の株価の動きを表す代表的な指数であり、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。MSCI Inc.は当ファンドの運用成果等に関し一切責任はありません。

NOMURA-BPI（国債）は、日本国債の市場全体の動向を表す、野村證券株式会社によって計算、公表されている投資収益指数で、野村證券株式会社の知的財産です。野村證券株式会社は、当ファンドの運用成果等に関し一切責任はありません。

FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLC により運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLC は、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLC に帰属します。

J P モルガン GBI-EM グローバル・ダイバーシファイド（J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド）は、J.P.Morgan Securities LLC（J P モルガン）が公表している、エマージング諸国の国債を中心とした債券市場の合成パフォーマンスを表す指数として広く認知されているものであり、J P モルガンの知的財産です。J P モルガンは当ファンドの運用成果等に関し一切責任はありません。

 明治安田アセットマネジメント株式会社